

2020年東京大会に向けたセキュリティ基本戦略

資料1

(H29. 3. 21 セキュリティ幹事会決定)

基本的な考え方

- 1 大会の安全・円滑な準備及び運営、継続性の確保
- 2 テロ等の未然防止とサイバー攻撃によるものも含めた緊急事態への的確な対処

総合的な態勢の確立

セキュリティ調整センター(仮称)

⇒ 大会期間中、内閣官房に設置

- ・ 官邸内に24時間の連絡態勢を確保
- ・ 関係機関間の必要な活動調整及び情報共有を推進
- ・ 重大事案発生時は官邸対策室等による対処に移行

情報収集・分析の強化

セキュリティ情報センター

⇒ 本年7月を目途に、警察庁に設置

- ・ 大会の安全に関する情報を集約し、脅威及びリスクの分析・評価を実施
- ・ 関係機関等に対し必要な情報を随時提供

主な対策

- ・ 競技会場等の安全の確保
- ・ アスリート、観客等の安全安心の確保
- ・ 重要サービスの継続性確保
- ・ 水際対策の強化
- ・ 重要施設、ソフトターゲット等の警戒警備の強化
- ・ テロリストに武器等を入手させないための取組の強化
- ・ サイバーセキュリティ対策の強化
- ・ 国際連携の強化
- ・ 自然災害への対応
- ・ 緊急事態対処能力の強化

配意事項

市民生活や社会経済活動への配慮

継続的な検討

他の作業グループ等との連携